

信州の生活科・総合的な学習の時間 実践誌

ふらふらと大地

令和5年1月

26

信濃教育会



かいこさん

一年 ひなた いぶき

かわいいな

はっぱを はやくたべるの

おもしろい

かいこさんは はっぱをくさん

たべたいんだなあ

さわると もちもち

ほくのゆびにくっつく

とれなかった

かいこさん ちやっこ

「ふるさと」になる

もうずいぶん前のことです。子どもたちと牛を飼っていた学校の「ともがき広場」に一人の青年が入ってきました。青年は遊び場を囲う柵に両肘を置いて、反芻しながら佇んでいる牛の様子をしばらく眺めていました。

「この学校の卒業生ですか？」

と声をかけると、

「そうなんですよ。おれも低学年の頃に牛を飼っていたんです」

と青年は答えました。そして、振り向きながら、

「あそこに小屋を建てて飼っていたんです。懐かしいなあ」

と語りました。

東京で社会人となった青年は、彼女を両親に紹介するため久しぶりに帰省したのだそうです。そして、実家への帰路に彼女を連れて立ち寄ったのが母校である小学校。しかも、低学年の頃に牛を飼っていたこの「ともがき広場」だったのです。

「おれね、ここで人生を学んだんです」

少しはにかみながら語った彼の心の中には、牛との暮らしの中で紡がれた物語があふれんばかりによみがえっていたのでしょう。彼にとつてこの「ともがき広場」は《人生を学んだ》かけがえのない場所であり、これからの人生を共に歩いていく彼女を真っ先に連れてきたいと思うほど大切な「ふるさと」になっていたのではないのでしょうか。

このエピソードを同僚に紹介した際「それってぼくも同じですよ。立場は逆ですけどね」というA先生の言葉に驚きました。県外出身の彼が彼女の実家を訪れる際、真っ先に連れて行かれたのが彼女の母校で、しかも、彼女が低学年の頃に羊を飼っていた場所だったというのです。A先生は今、信州の小学校で子どもたちとの暮らしを重ねながらすてきな物語を編み続けられています。

本実践誌に綴られている物語の舞台となっている場所や子どもたちが働きかけているひと、もの、こと等が、一人一人の子どもにとつて、そして教師にとつて大切な「ふるさと」になっていく未来があると信じています。

最後になりましたが、玉稿をお寄せいただいた皆様、特集・シリーズにご協力賜りました皆様、本実践誌が発刊できるまでに携わられたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

テーマ 「ふるさと」になる

「ふるさと」になる

『ふるさととの大地』編集委員会委員長 馬淵勝己 …… 1

● 特集

・三百年後に「ふるさと（集落）」を引き継ぐ

～人は財産 集落は舞台 そこに暮らすみんなは主役～

合同会社「小滝プラス」代表社員 栄村公民館長 樋口正幸氏 …… 4

・総合的な学習ブック『ふるさと栄』を足がかりにして

～栄村への「ふるさと観」を育てたい～

栄村教育委員会教育長 下 育郎 …… 14

● シリーズ ⑨ 生活科・総合的な学習と学力

～ヤギとのくらしを共に創った担任と教え子が、当時を振り返る中でみえてくるもの～

大藪勝先生の信州大学教育学部附属長野小学校時代の実践 …… 16

● 実践事例 & コラム

栄村の加工用トマトを「守りたい」（中学2・3年）

栄村立栄中学校 實原泰介 …… 20

コラム 復旧・復興 ～私たちにできること～（中学1年）

長野市立東北中学校 楠 直樹 …… 30

ハッピー&スマイル ～みんなが笑顔で幸せになれる場所～（1・2年）

千曲市立埴生小学校 大日方政之 …… 32

コラム ホタル池にもっとホタルを飛ばしたい！（4年）

東御市立滋野小学校 大月美怜 …… 42

そめものって楽しいね ～子どもたちの花に向けるまなざしから教えてもらった二年間～（1・2年）

箕輪町立箕輪北小学校 安田 望 …… 44

コラム コロナを乗り越えろ！ 6の1ピザ作り大作戦！（5・6年）

諏訪市立豊田小学校 渡邊慶子 …… 54

「一緒」だから楽しい ～スマイルマーケットの歩み～（3・4年）

木祖村立木祖小学校 吉沢信也 …… 56

コラム ふるさと白馬の雪を守ろう（中学1～3年）

白馬村立白馬中学校 降旗尚樹 …… 66

◆ 実践ライブラリー …… 68

◆ ブロック会だより …… 70

子どもの風景

ひなた いぶき（飯山市立飯山小学校1年）／生駒 ひかる（佐久市立岩村田小学校2年）／
かさい もな（諏訪市立上諏訪小学校2年）／中谷 優（安曇野市立堀金小学校5年）

表紙題字：市澤静山（信州大学名誉教授）

表紙写真：大町市立美麻小中学校

裏表紙写真：伊那市立伊那小学校

子どもの視線やつぶやき

9月になると、職員室では、どんぐりが拾える公園や神社の話題が出ます。その時期が過ぎた10月下旬、昇降口の横で何かを探している子どもがいました。「どんぐりだよ、ほら」と指さす方を見あげると、青々とした葉の間に、どんぐりが実っていました。私は、常緑樹に実るどんぐりを、初めて見ました。その木は「シラカシ」という名前だそうです。

11月下旬、今度は違う学年の子どもが、シラカシの木の下にいました。「こんなにあるよ」「遠足の時のどんぐりより小さいの」と、袋の中にはたくさんのどんぐり。この時、私は、木の実は少しずつ時期をずらして実るということを改めて実感しました。

どれがどんぐりの木で、いつ頃実るのが、それは子どもが教えてくれるのかもしれませんが、子どもの視線やつぶやきに、気持ちを向けていきませんか。

『ふるさととの大地』編集委員会副委員長 清水令子

実践ライブラリー

県内各地の先生方の実践を資料として収集し、その一部を掲載いたしました。

活用をご希望の方は、信濃教育会教科用図書研究部にお問い合わせください。

過去の実践については、信濃教育会ホームページをご覧ください。

信濃教育会教科用図書研究部 TEL 026-232-5201 Fax026-232-7132
信濃教育会 HP <https://shinkyu.or.jp>



■生活科

No	題材名	実践者・学年	概要
1	中佐都フェスティバル・あき～オリジナルおもちゃであそぼう～	安藤 克弥 (佐久市立中佐都小学校) 2年	1年生にフェスティバルを楽しんでもらおうと自然を使ったおもちゃ遊びを作り、自然と遊ぶ面白さを感じ、友だちと体験し合い意見交換しながら遊びをつくり出しています。
2	生きもの はっけん	村山 聖 (上田市立清明小学校) 2年	ふだんから身近な生き物にかかわってきた子どもたちが、カニ、カエル、バッタなど、自分の飼っている生き物の世話をしながら、生き物にとってよりよいすみかを作っていく実践です。
3	あきがいっぱい	丸山 彩穂 (茅野市立北山小学校) 1年	学校周辺や近所の天狗山へ足を運び、全身を使って季節と遊んできた子どもたち。この秋も、豊かな自然と向き合いながら、生き物や植物を集めたり、友だちと遊びを工夫したりと、秋を存分に楽しみます。
4	わくわくひみつきち～とっておきのばしょにしよう～	宮田 祐輔 (辰野町立川島小学校) 1・2年	秘密基地に忍者屋敷を完成させて忍者になりきって遊ぼうとしている子どもたちが、自然のもの、作ったものを使って遊ぶことの楽しさや友だちと遊ぶことの楽しさに気付いていきます。
5	わくわくおもちゃランド	内田 美咲 (下條村立下條小学校) 1年	自分たちが作ったおもちゃで6年生と一緒に遊びたいと願っている子どもたちが、6年生が楽しんでくれるように工夫しながらボウリング、魚釣り、ロケット、けん玉などのおもちゃを作っていく実践です。
6	モコちゃんまつりをしよう	有馬 光莉 (塩尻市立桔梗小学校) 2年	ウサギのモコちゃんのことを知って好きになってもらえるような楽しいお店にしたい、という視点で「モコちゃんまつり」について話し合い、お客さんと交流をしていきます。
7	秋をたのしもう	安江 怜 (池田町立池田小学校) 1年	みつけた身近な秋の自然を利用したおもちゃを作ったり、遊んだりしながら季節の変化を感じ、秋とかわる楽しさを味わっていく実践です。
8	ココちゃんの公園つくろうよ	若林 孝 (千曲市立上山田小学校) 1年	ヤギのココちゃんの公園に置く遊具を作り始めた子どもたちが、作っている遊具を紹介したり困っていることを発表したり、ココちゃんに遊具で遊んでもらったりすることを通して、さらに思いを寄せた遊具を作っていきます。
9	てづくりおもちゃであそぼう	山崎 豪介 (長野市立篠ノ井西小学校) 1年	自分が作ったおもちゃを「もっと高く・長く・速く」したいと考えた子どもたちが、同じおもちゃを作る友だち同士で見合いながら試し遊びを繰り返すことを通して、遊びをより面白くするために工夫していきます。
10	しゃぼんだまはかせになろう	米澤 雄太 (飯田市立座光寺小学校) 1年	しゃぼん玉の美しさや不思議さに魅力を感じた子どもたちは、自分なりに工夫したり友だちと協力したりしながら、自分がつくりたいと感じているしゃぼん玉づくりに没頭していきます。

■総合的な学習の時間

No	題材名	実践者・学年	概要
1	菅野の魅力を発見！ 過去・現在・未来の菅野の地	高橋 岳 (松本市立菅野小学校) 6年	自分たちの故郷、「菅野の地」の伝統と文化に目を向けた子どもたちが、地域の方にインタビューやアンケート調査をしながら「菅野の地」の魅力を発信するために自分たちは何ができるかを考えていきます。
2	お練りの魅力を見つけよう	原 駿斗 (飯田市立浜井場小学校) 5年	お練祭りを体験したり歴史を調べたりして、その魅力を探った子どもたちが、自分たちのお練りをつくりながらお練祭りに携わる人々の思いに気付いていきます。
3	信州新町の魅力を たくさんの人に伝えよう	伊藤 将弘 (長野市立信州新町小学校) 6年	信州新町の魅力をたくさんの人たちに伝えたいと願っている子どもたちが、食、自然、芸術、イベントの4つのグループごとに取材やインタビューをしたことをもとに動画を制作し、発信する実践です。
4	私たちの町の公園調査隊	佐藤 佳那 (長野市立三輪小学校) 5年	利用している地域の公園について調べることを通して、公園の歴史や地域の人々の込めた願いを感じた子どもたち。身近にある「美和公園」に込められた願いを地域の方から聞き、地域の方の思いを感じ、住んでいる「三輪」を見つめ直す実践です。
5	さくらに赤ちゃんが できるといいな ～健康な体になってね、 さくら～	竹腰 悠哉 (飯田市立座光寺小学校) 3年	妊娠しているかもしれないヤギの「さくら」に何をあげられるのかを考え実際に取り組んでみることで、これまで以上にさくらの健康や出産を支えていこうという気持ちが深まっていきます。
1	探そう！知ろう！伝えよう！ 私たちの住むまち “軽井沢”の魅力	白田 裕太 (軽井沢町立軽井沢中学校) 1年	軽井沢の魅力を、様々な視点で捉えることを通して、軽井沢に住む中学生として、地域の活動に関心をもち、地域のために自分ができることは何かを考え、軽井沢全体に目を向けながら町のもつ様々な魅力を再発見したり、捉え直していく実践です。
2	地域未来プロジェクト ～アントレプレナーシップ～	赤羽 晋治 成沢 恵津子 友田 直樹 今井 雅人 安藤 正幸 (上田市長和町中学校組 合立依田窪南部中学校) 3年	依田窪南部地域のよさを見つけるために、地域の「宝」をテーマにしたアントレプレナーシップ(起業家精神涵養教育)に取り組みます。グループごとに起業する企画を考え、中間発表会で感想を送り合うことで自分たちの改善点を見つけます。その後、企画を練り上げ、文化祭で全校生徒や地域の方に向けて発表をし、地域に誇りをもとうとする実践です。
3	地域を知る ～地域のために活動する 人を知り、学ぶ～	若林 翼 大野 田峻平 清水 映里 田中 健雄 笠井 正啓 竹村 宏行 伊藤 亜祐雅 伊藤 綾華 (茅野市立東部中学校) 1年	興味をもっている業種について、知っていることや知りたいことを書き出すなどしてきた生徒たちが、地域で働く方との対話の中で、自身の「働くこと」に対する考えを深めていきます。
4	ワクワク！学年生徒会 ～SDGs 達成に向けて～	藤原 祐未 妹尾 圭子 末石 歩 長谷川 開 鋤 柄 翠 山根 郁夫 赤塚 陽子 小池 美江 (松本市立梓川中学校) 2年	SDGsの視点で活動を見直しながら、持続可能な社会づくりの第一歩として果たす役割や自分たちがどのような活動を創っていききたいかについて考え、学年生徒会に取り組む実践です。